

<バードドックのご案内>

コース	身体検査	糞便検査※1	そ嚢液検査	レントゲン	血液検査	遺伝子検査
Aコース	一般健康診断+フルコースで検査 総合的に鳥の健康状態を把握することができます。全ての鳥にお勧めします。	○	○	○	○	○
Bコース	一般健康診断+画像診断・生化学検査による詳細な評価 肥満や内臓機能の低下などが心配な鳥にお勧めします。	○	○	○	○	—
Cコース	一般健康診断+画像診断 骨格や内臓の評価を行うコース 呼吸器や骨格に不安がある鳥にお勧めします。AやBより負担が少ない設定です。	○	○	○	—	—
Dコース	一般健康診断+感染症の検査 幼若な鳥や新しくお迎えした鳥に強くお勧めします。	○	○	—	—	○
Eコース	初診料・再診料の範囲で身体検査 初心者の方には冊子が付きます。	○	—	—	—	—

・遺伝子検査

PBFD：オウム、インコ類全般で若齢時。同居の鳥がいなければ若いときに1回のみ。

クラミジア：鳥類全般。年に1回の定期検査。人獣共通感染症の「オウム病」の病原体です。

※過去にPBFD検査済みで、感染の可能性が低い場合はPBFDの検査を行わず、クラミジアの検査料金から値引きした料金で検査をいたします。

【オプションで付加】

→その他の感染症(BFD、抗酸菌、ボルナウイルスなど環境や予算に応じて行います。)

→遺伝子検査による雌雄判定もオプションで付加できます。

- ・20g以下の小型鳥や保定の困難な個体では血液検査を見送ります。フィンチ類はC～Eの間で行います。
- ・全コース予約制となっております。AコースとBコースは時間がかかりますので半日預かりになる場合があります。
- ・検査はノーリスクではありません。そのう検査、レントゲン検査、血液検査は一定時間の保定が必要となります。あるいは興奮により暴れて自ら外傷を負う可能性もあります。鳥の扱いに熟練した獣医師・スタッフが検査を担当いたしますが、少ない確率で不測の事態が起こる可能性がある点に留意ください。鳥は病気を隠して元気なふりをしています。検査に耐えられない程の個体が混じっている場合があります。
- ・興奮しやすい中型以上のオウム類や嘴や爪の鋭い種類は相談の上で鎮静や麻酔をかけて処置をする場合があります。
- ・コースが決められない場合は「バードドック」の予約のみ取り、当日に相談して決めて頂く事も可能です。AコースやBコースは検査に時間が掛かりますので半日預かりになる場合があります。混雑している時間帯では鳥さんを落ち着かせて検査ができなくなります。余裕をもってご予約をお願いします。
- ・ラブバードには「クリプトスポリジウム」が腸に感染している例があります。オプションで「ショ糖浮遊法による検便」をおすすめします。
- ・A～Dコースは病気の外来で行った場合に比べ費用を抑えて設定しています。検査前から病気や症状がある状態では健診ではなく通常診察となります。
- ・激しい換羽(トヤ中)や産卵後など体調の変化があるときは、正確な検査結果が得られないため検査を延期いたします。換羽による食欲不振や過剰な発情、異常な産卵は通常の外来でお受けします。

《料金表》

Aコース	19440円(税込み)
Bコース	9504円(税込み)
Cコース	5940円(税込み)
Dコース	13176円(税込み)
Eコース	1944円(税込み)

いずれも初診料・再診料込みです。

【オプション検査】

ショ糖浮遊便検査 864(税込み)

遺伝子検査項目追加 1項目追加につき 2160円(税込み)追加、ボルナウイルス検査 7560円(税込み)

雌雄判定の遺伝子検査 5400円(税込み)

※Aコース、Dコースを受けた方の健診価格です。通常の外来の料金は別途で設定しています。